

2003年度 中間決算説明資料

2003年 11月

2003年度 連結中間決算の概要

(億円)

	'03中間期	'02中間期	増減	増減率
受注高	12,335	8,105	4,230	52.2%
売上高	10,000	10,901	901	8.3%
営業損益	105	265	160	60.4%
経常損益	94	25	120	-
特別損益	20	7	28	-
税引前損益	114	33	148	-
当期損益	104	6	110	-

特別損益(20)の内訳: 事業改善・再構築に係る特別対策費

中間期 業績比較 (営業損益・経常損益)

(損益表示: 億円)

	(A)2003年度中間期		(B)2002年度中間期		増減(A)-(B)
		(売上高比率)		(売上高比率)	
売上高	10,000		10,901		901
粗利益	1,394	(14%)	1,670	(15%)	275
営業損益	105	(1%)	265	(2%)	160
営業外 損益	為替差損	139	193		+ 53
	金融収支	35	45		+ 10
	その他	25	1		24
計	199	(-)	239	(-)	+ 39
経常損益	94	(1%)	25	(0.2%)	120

営業損益 増減要因 160億円

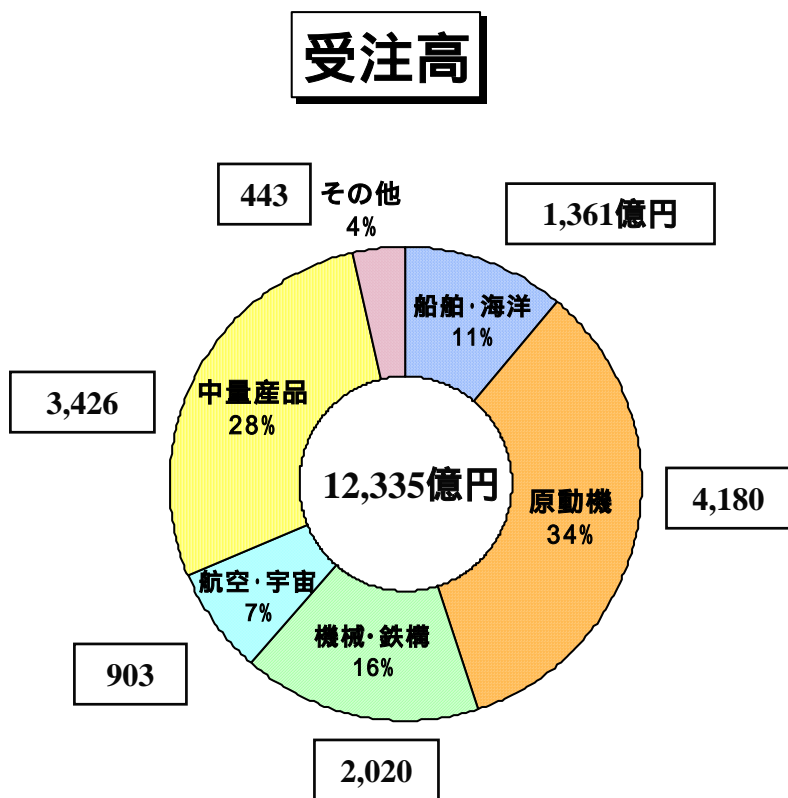
- ・売上高減少の影響 330億円
- ・為替の影響 32億円
ドル@¥122('02.中間期) @¥119('03.中間期) 他
- ・コスト増減 + 202億円
 - ・一時金・支給対象期間変更による影響 +135億円
 - ・費用低減 +106億円
(人員減少による費用減 +56億円 他)
 - ・退職給付債務・数理差異 増加 39億円
(2002年度末発生数理差異の当期償却増加分)

経常損益 増減要因 120億円

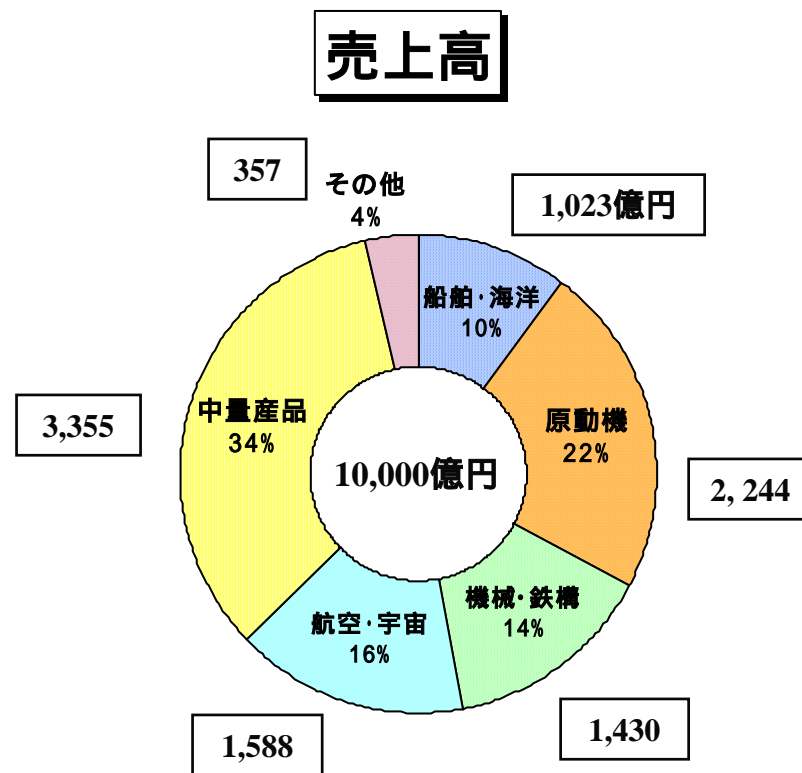
- ・営業利益減少 160億円 (左記の通り)
- ・営業外損益 + 39億円
 - ・為替差損益 + 53億円
(参考)
ドル@¥120('02.期末日) @¥111('03.中間期末日)他
@¥133('01.期末日) @¥122('02.中間期末日)他
 - ・金融収支(支払利息減少 他) +10億円
 - ・その他(固定資産処分損 他) 24億円

連結セグメント別の状況(2003年度中間期実績)

受注高

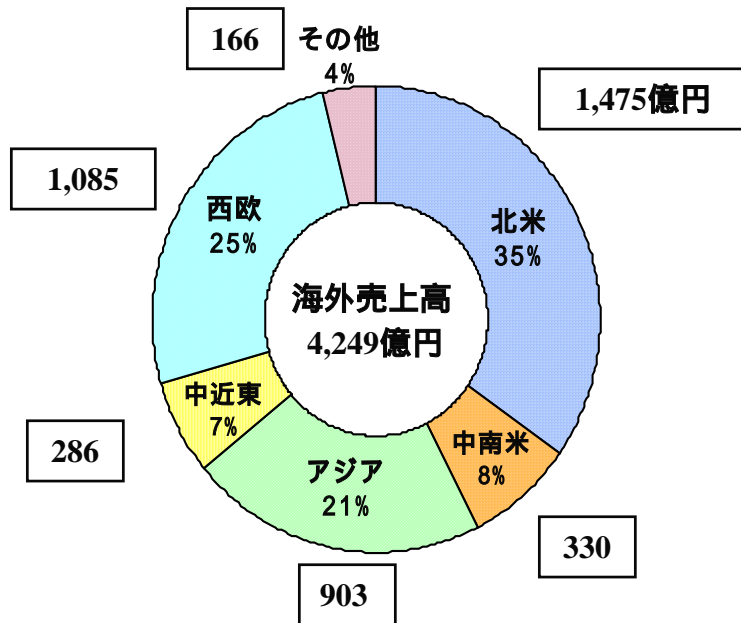


売上高

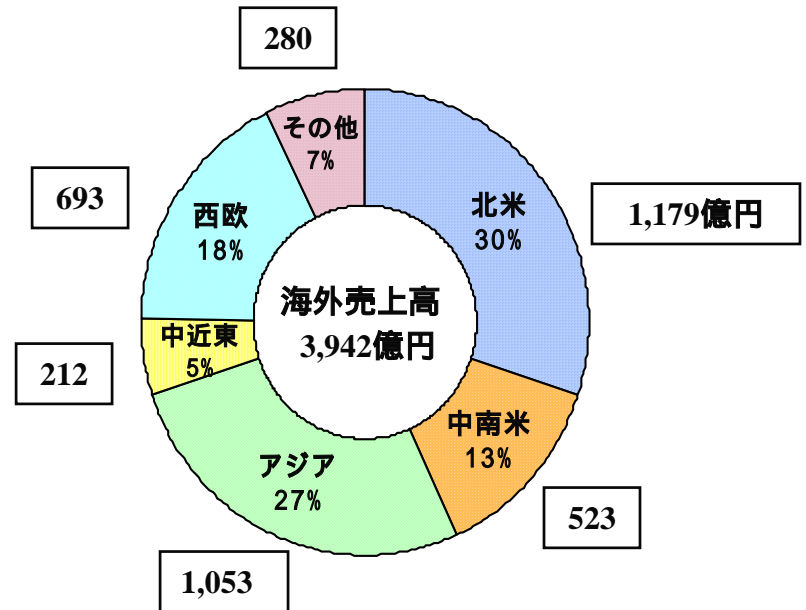


海外地域別連結売上高

2002年度中間期実績



2003年度中間期実績



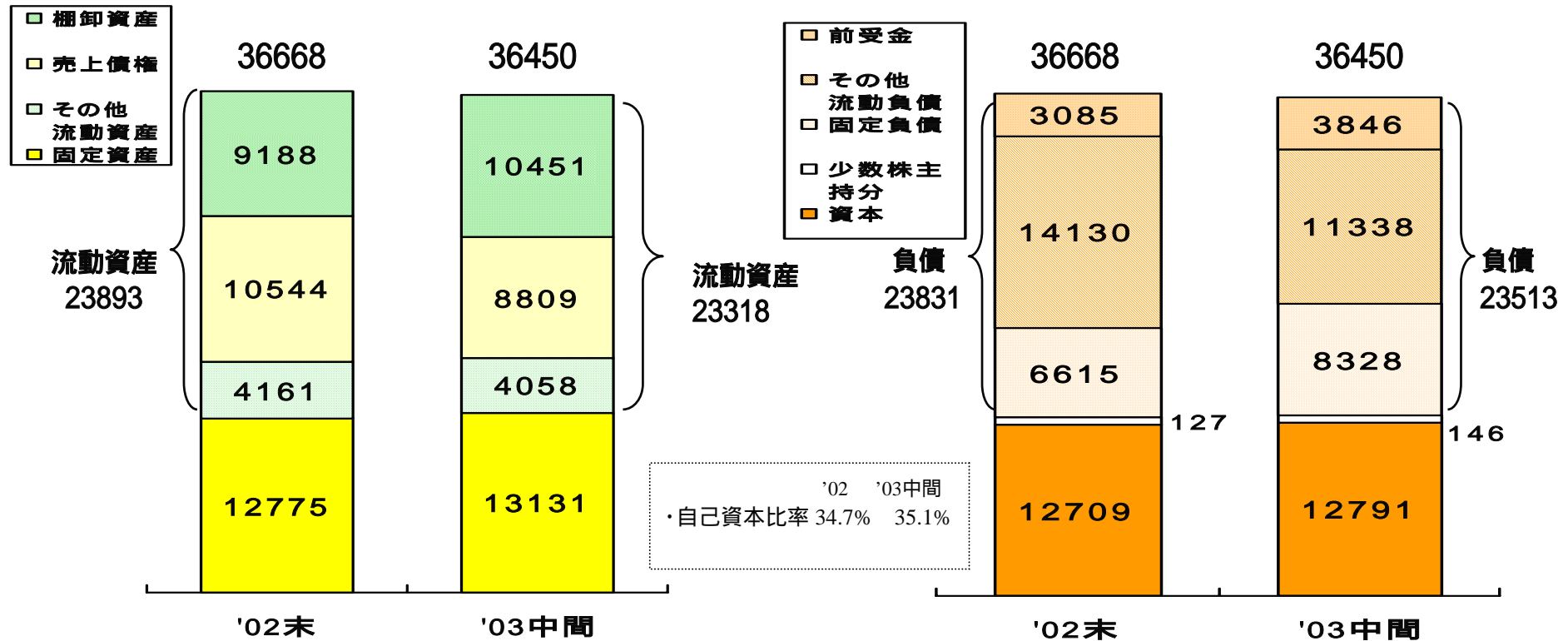
貸借対照表

資産

負債・資本

及び少数株主持分

(億円)



資産増減(218)

売上債権 1734、棚卸資産+1262、
投資有価証券 + 452、繰延税金資産 123 他

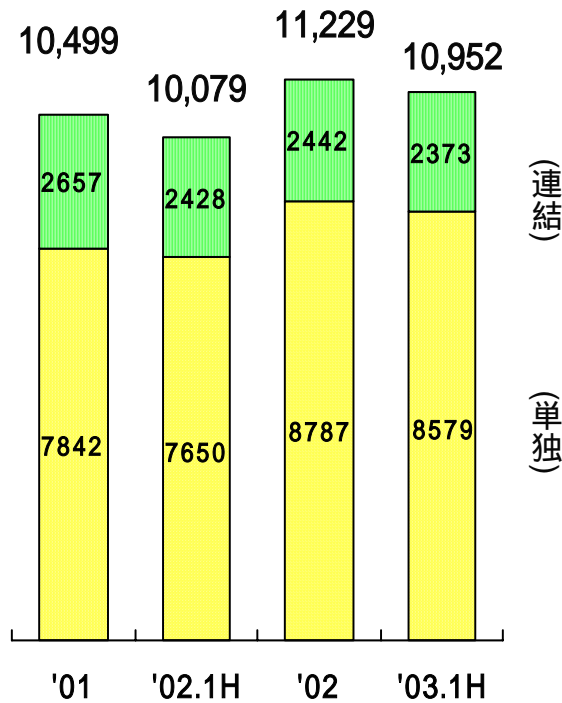
負債増減(317):

前受金+761、買入債務 542、有利子負債 276 他

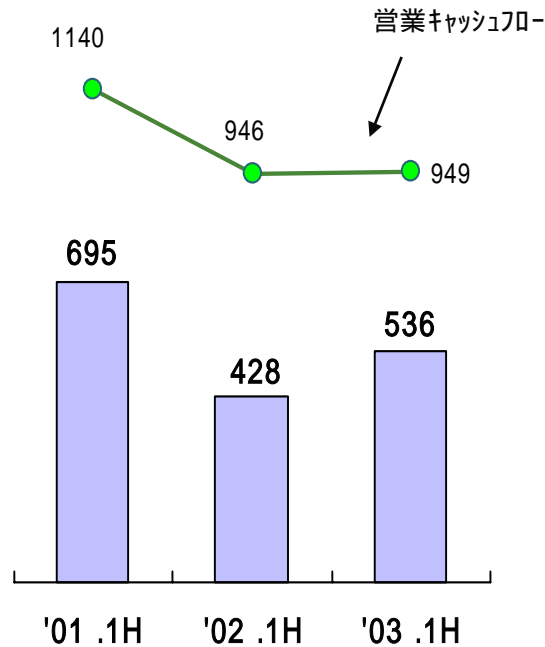
資本増減(+ 81):評価差額金+268、利益剰余金 195 他

有利子負債・キャッシュフロー

有利子負債 (億円)



フリーキャッシュフロー (億円)



'03中間期の概要

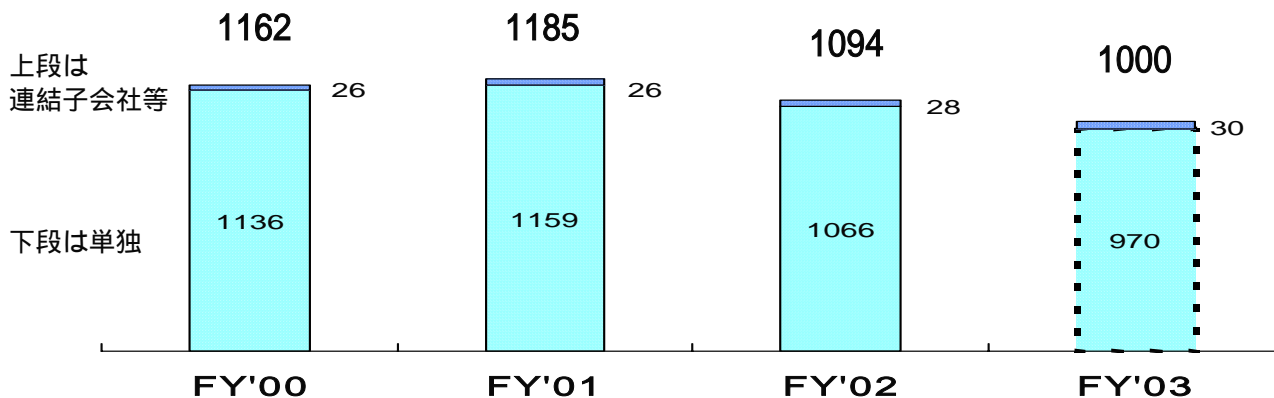
- 営業キャッシュ・フローは前年同期並みの949億円となった。
- 投資キャッシュ・フローは前年同期から支出が減少し、413億円となった。
- この結果、フリー・キャッシュフローは536億円となり、前年同期から107億円増加した。

	'03中間	'02中間	増減
営業CF	949	946	2
投資CF	413	517	104
フリーCF	536	428	107
財務CF	441	447	5

* CF=キャッシュフロー

研究開発費

(億円)



・主力分野を中心に
効率的な研究開発
投資を実施

- ・民間小型ジェット機
- ・次世代ガスタービン
- 他

減価償却費・設備投資

・生産設備の拡充を
中心に減価償却費を
上回る設備投資継続

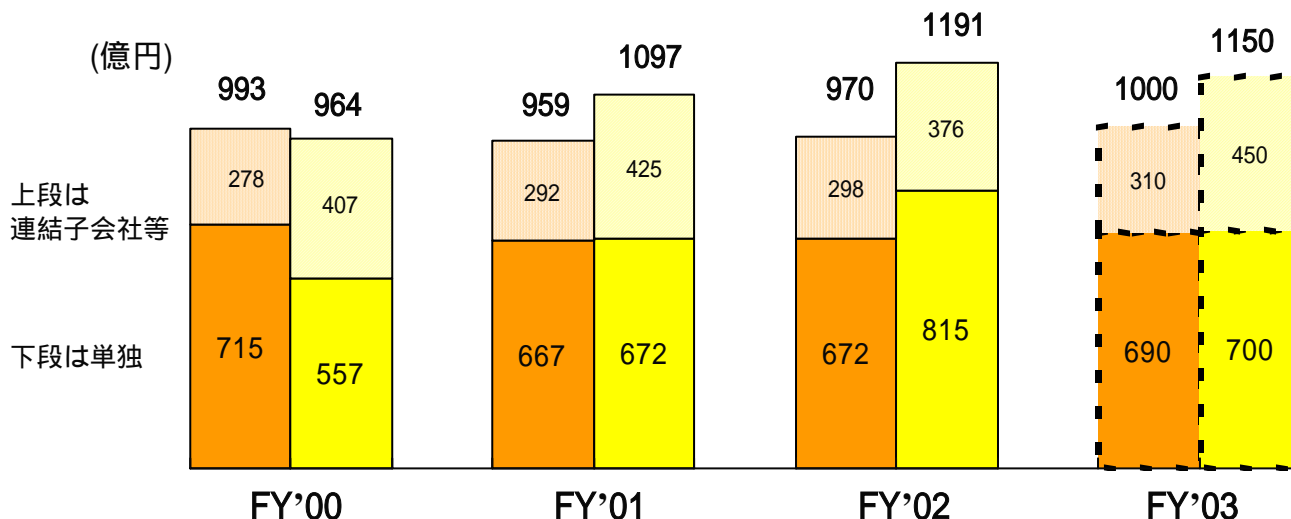
・交通システム(APM)車両
生産(組立)体制整備

・工作機械、生産体制
を再編・効率化
(栗東工場に一元化)

・欧州子会社、小型ターボ
増産対応 他

■ 減価償却費
■ 設備投資

(億円)



2003年度 単独中間決算の概要

(億円)

	'03中間期	'02中間期	増減	増減率
受注高	10,019	5,967	4,051	67.9%
売上高	7,873	8,901	1,028	11.5%
営業損益	87	206	294	-
経常損益	238	33	205	-
特別損益	20	18	38	-
税引前損益	259	15	244	-
当期損益	168	8	159	-

特別損益(20)の内訳: 事業改善・再構築に係る特別対策費

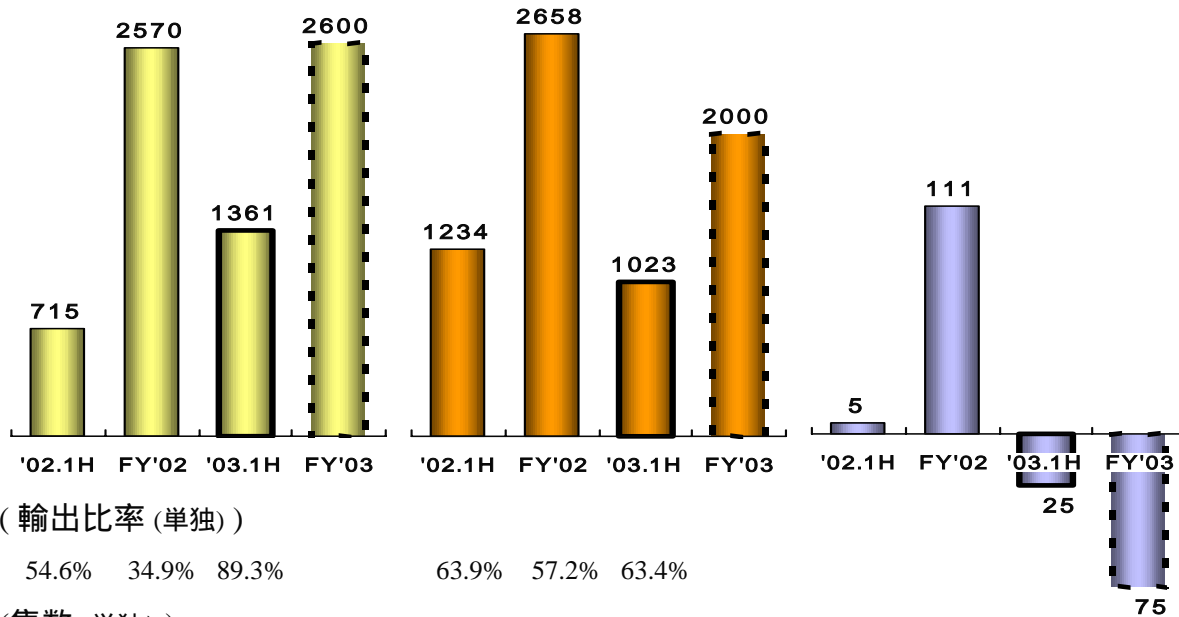
船舶・海洋

(億円)

受注高

売上高

営業損益



(輸出比率 (単独))

54.6% 34.9% 89.3%

(隻数 (単独))

7隻 (180KGT) 26隻 (1,152KGT) 16隻 (1141KGT)

63.9% 57.2% 63.4%

6隻 (423KGT) 18隻 (770KGT) 8隻 (435KGT)

[事業環境・受注]

- 海運市況は上向き、2003年前半の世界の新造船発注量は増加
- 中間期はコンテナ船12隻、自動車運搬船3隻、VLCC1隻、計16隻を受注 (手持 56隻、内 LNG船 5隻)

[売上/損益]

- 中間期は、輸出船売上の減少等により減収、損益は客船のコスト増加の他、債権貸倒れの発生により前年同期を下回り、赤字。

[トピックス]

- 人員削減等固定費圧縮を継続
(事業人員) 5,380 5,160 4,940人 4,790人
('01/4) ('02/4) ('03/4) ('04/4予定)

< 通期業績見通し: 受注 / 売上 / 損益 >

FY'03見通し: 2600 / 2000 / 75
(期初 2500 / 2000 / 70)

FY'02実績 : 2570 / 2658 / 111

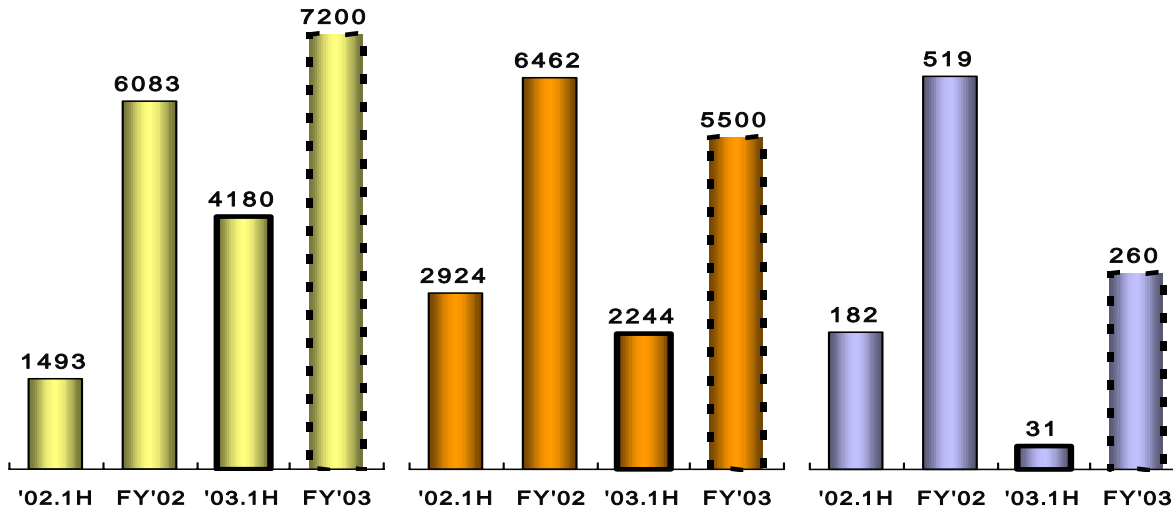
原動機

(億円)

受注高

売上高

営業損益



(ガスタービン手持受注台数 (単独))

46台 41台 55台
(内北米向)
12台 4台 4台

[事業環境・受注]

- 国内は、電力関連の設備投資抑制が続き、依然厳しい事業環境
- 海外は、アジア・欧州が比較的堅調
- 中間期は、ガスタービン・コンバインドサイクル発電設備をはじめ、アジア・欧州向大型商談を受注するなど輸出が伸長、前年同期比で大幅増加

[売上/損益]

- 中間期は、事業用・産業用国内工事の他、ガスタービンなど輸出工事の売上も減少し、部門全体でも前年同期比で減収・減益

[トピックス]

- タイ最大規模の石炭焼き発電プラントを受注
- 世界最大のガスタービンコンバインドサイクル発電プラントを、台湾電力公司より受注
- 米国向・1,000kW風力発電設備160基を受注

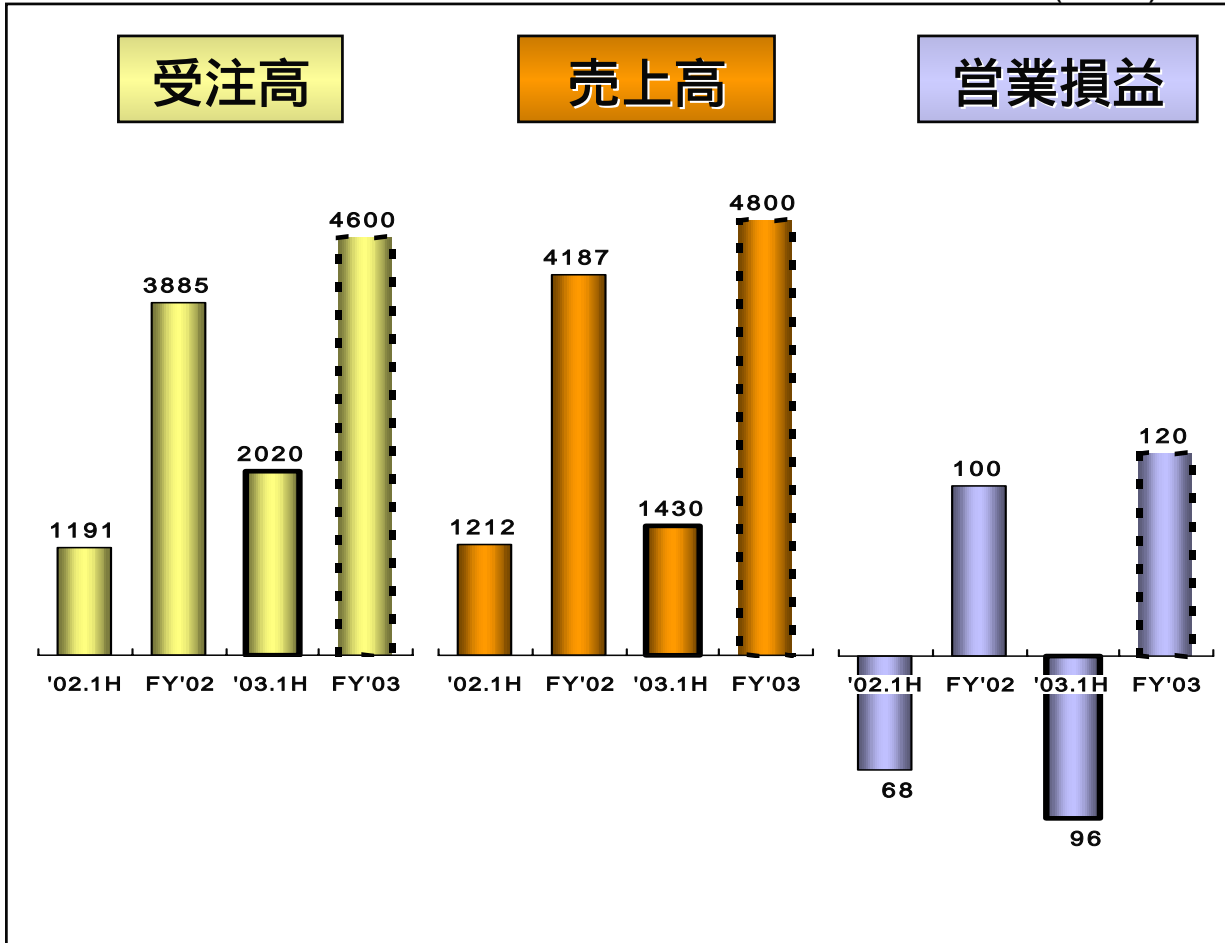
< 通期業績見通し: 受注 / 売上 / 損益 >

FY'03見通し: 7200 / 5500 / 260
(期初 7000 / 5500 / 300)

FY'02実績 : 6083 / 6462 / 519

機械・鉄構

(億円)



[事業環境・受注]

- 国内は公共投資予算縮減傾向が継続、海外はアジアを中心に案件活発化
- 中間期は、環境装置(廃棄物処理装置)で当社初のPCB処理装置を受注するなど、国内向けが増加した他、アジア・中近東向の輸出が伸長し、前年同期比で大幅増加

[売上/損益]

- 中間期は、台湾新幹線の売上計上開始など輸出工事が増加し、部門全体では前年同期比で増収。
下半期の売上が大きく、固定費回収不足により、損益は前年同期と同様、赤字

[トピックス]

- 環境装置 : 当社初のガス化溶融炉を受注 (2003.10)
- 風力機械 : アジア・中近東向各種プラント用コンプレッサを連続受注

< 通期業績見通し: 受注 / 売上 / 損益 >

FY'03見通し: 4600 / 4800 / 120
(期初 4900 / 4800 / 120)

FY'02実績 : 3885 / 4187 / 100

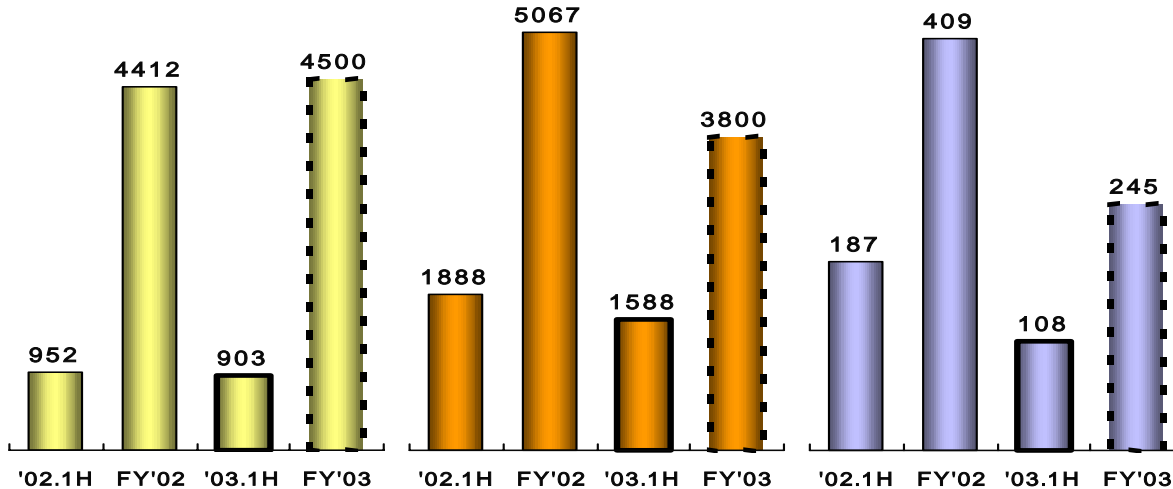
航空・宇宙

(億円)

受注高

売上高

営業損益



<引渡機数>

B777: 18機 36機 21機

[事業環境・受注]

- ・防衛関係は、今年度予算でほぼ例年並みの水準を確保
- ・中間期は、民間機関係が需要回復遅れにより減少、部門全体でも微減

[売上/損益]

- ・中間期は、民間機関係でビジネスジェット機グローバルエクスプレス等の引渡機数が減少したほか、防衛関係も開発工事等が減少した為、部門全体でも前年同期比 減収・減益

[トピックス]

- ・ボーイング新型機「7E7」の機体開発参加企業に選定(2003.6)
- ・アリアスペース、ボーイングと商業衛星打上げサービスでの国際協業に合意(2003.7)

<通期業績見通し: 受注 / 売上 / 損益>

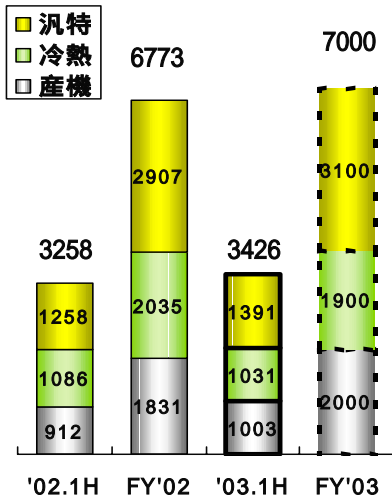
FY'03見通し: 4500 / 3800 / 245
(期初 4500 / 3800 / 280)

FY'02実績 : 4412 / 5067 / 409

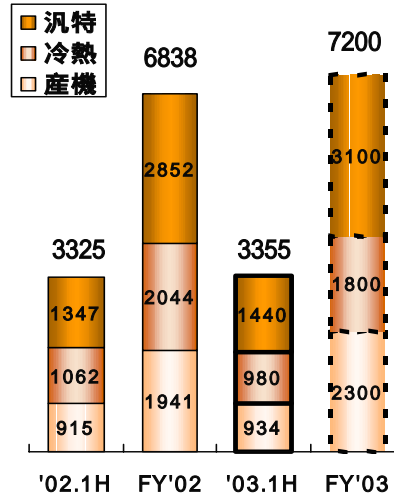
中量産品

(億円)

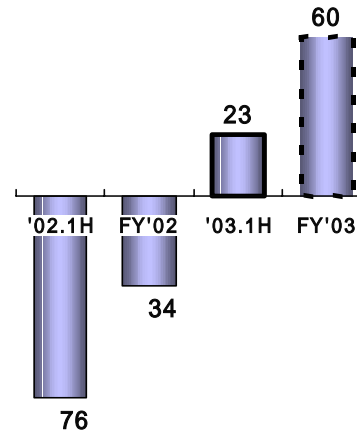
受注高



売上高



営業損益



[事業環境・受注]

•海外は低迷していた米国の需要が徐々に回復、アジアは中国向を中心に需要旺盛

•中間期は、国内が景気低迷の影響で厳しい状況であったが、中国向の産業機械輸出が増加し、部門全体では前年同期比増加

[売上/損益]

•中間期は、印刷機械等、産業機械で中国を中心とするアジア向けの輸出売上高が増加し、部門全体でも前年同期比で増収・増益(黒字)

[トピックス]

- 工作機械:栗東工場に最新鋭工場完成、生産体制再編完了、2003.10より生産開始
- 汎用機、冷熱:北米子会社(フォークリフト、カ-エアコン)の業績が改善

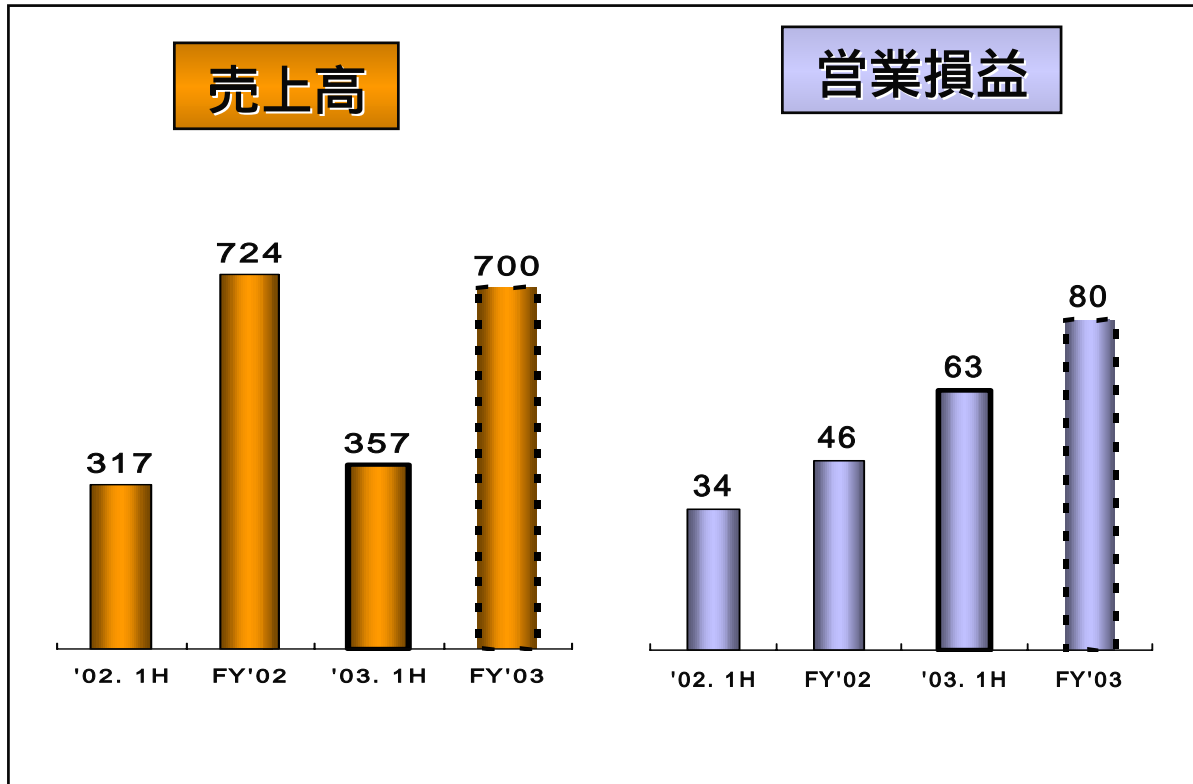
< 通期業績見通し: 受注 / 売上 / 損益 >

FY'03見通し: 7000 / 7200 / 60
(期初 7000 / 7200 / 50)

FY'02実績 : 6773 / 6838 / 34

その他

(億円)



- ・建築・不動産
- ・情報・通信サービス
- 他

<通期業績見通し: 売上 / 損益>

FY'03見通し 700 / 80
(期初 700 / 30)

FY'02実績 724 / 46

2003年度 通期の業績見通し(連結)

(年度)

(単位:億円)

	'02	'03		
	実績	期初見通し	今回見通し	増減
受注高	24,809	27,000	27,000	-
売上高	25,938	24,000	24,000	-
営業損益	1,153	850	690	160
経常損益	781	600	300	300
税引前損益	661	600	300	300
当年度損益	343	350	150	200

為替レートは1ドル=@ ¥110、1ユーロ=@ ¥125の前提 (未確定32億ドル, 2億ユーロ)

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみには依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

2003年度見通し(受注)

【受注高】

	'00	'01	'02	'03期初 見通し	'03 見通し	'03上期 実績	'03下期 見通し
連結	26,403	24,249	24,809	27,000	27,000	12,335	14,665
単独 (うち輸出)	22,138 (7,870)	19,704 (6,875)	20,507 (6,134)	22,000 (9,000)	22,000 (9,500)	10,019 (6,103)	11,981 (3,546)

総括

船舶・海洋、原動機の輸出伸長により
セグメント別内訳を見直し

- ・増加：船舶・海洋 + 100億円、原動機 + 200億円
- ・減少：機械・鉄構 300億円

上期の実績

6年ぶりに1兆円超過(単独)

顧客から評価された技術力で輸出伸長

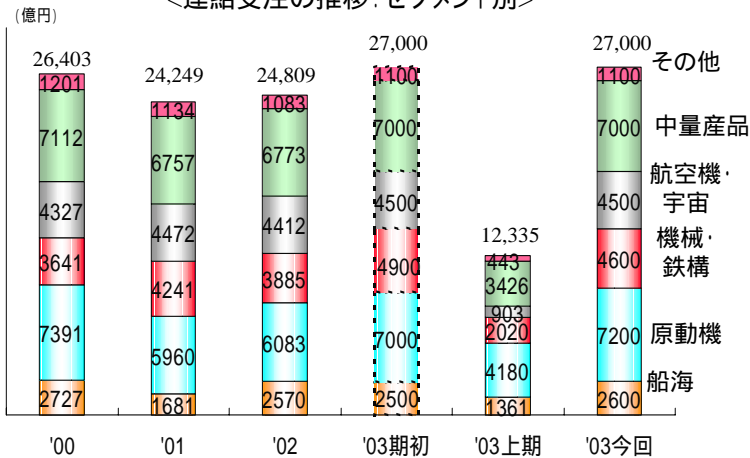
- ・輸出大型コンテナ船を一括受注
- ・大型火力発電プラントの相次ぐ成約
- ・中国向輸出等が好調

今後の展開

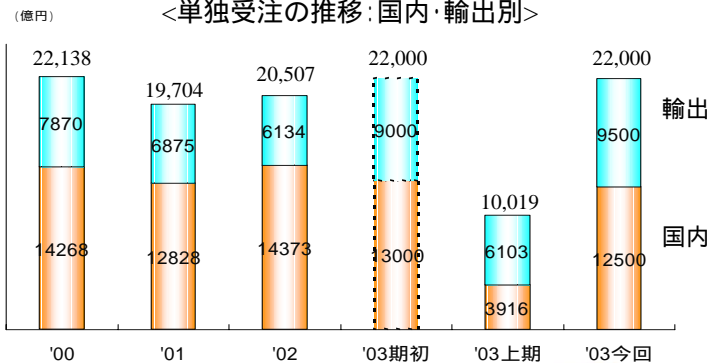
国内受注確保と輸出次期商談対応

- 1.原動機：
 - ・国内/輸出向サービス工事の確保 (3,020億円)
 - ・アジア・欧米向大型商談への取り組み
- 2.機械・鉄構：
 - ・下期発注が多い官公需商談の確保 (2,580億円)
 - ・輸出案件の確実なフォロー
- 3.航空機・宇宙：
 - ・下期発注が多い防衛商談の確保 (3,597億円)
- 4.中量産品：
 - ・好調な中国を中心に輸出拡大 (3,574億円)

<連結受注の推移：セグメント別>



<単独受注の推移：国内・輸出別>

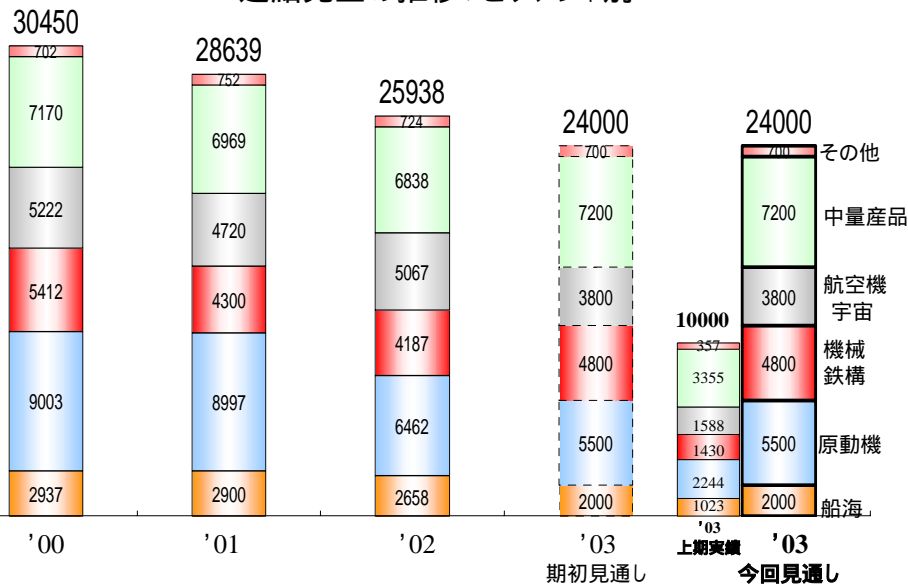


2003年度見通し (売上)

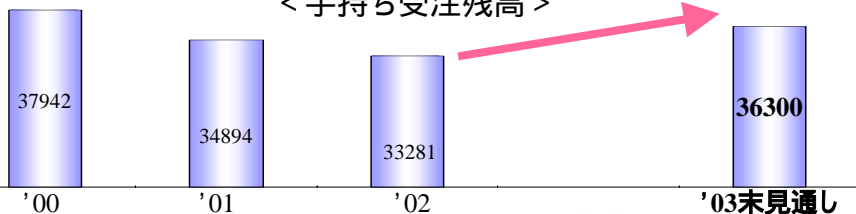
売上(連結) (億円)

	'00	'01	'02	'03 期初見通し	'03 今回見通し	'03上期 実績	'03下期 今回見通し
連結	30,450	28,639	25,938	24,000	24,000	10,000	14,000
単独	26,377	23,886	21,717	19,000	19,000	7,873	11,127

< 連結売上の推移: セグメント別 >



< 手持ち受注残高 >



売上

期初見通しからの変更なし

- ・受注品は確定工事が多く、中量製品の受注もほぼ計画通り。
- ・売上高全体における為替レートの影響は軽微

手持ち受注残

好調な受注により、受注残高が増加に転じる。

'04以降の収益のベースとなる売上規模の拡大に結びつける。

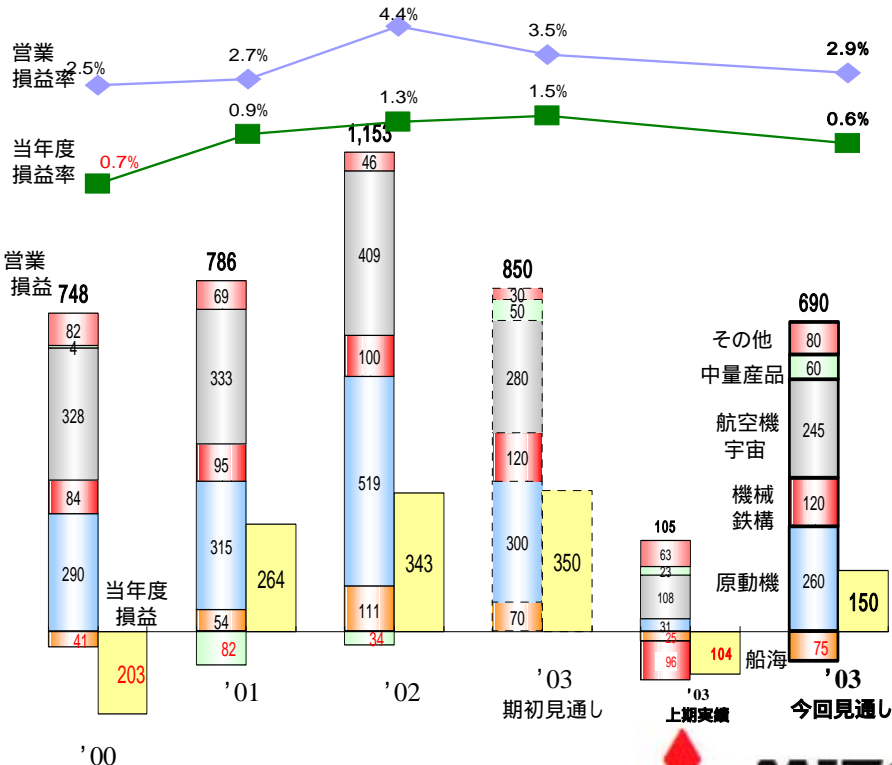
2003年度見通し (損益)

損益(連結) (億円)

	'00	'01	'02	'03 期初見通し	'03 今回見通し	'03上期 実績	'03下期 今回見通し
連結							
営業損益	748	786	1,153	850	690	105	585
経常損益	632	679	781	600	300	94	394
税引前損益	51	480	661	600	300	114	414
当年度損益	203	264	343	350	150	104	254

【為替レート】 ¥114/\$ ¥122/\$ ¥122/\$ ¥120/\$ ¥114/\$ (¥119/\$) (¥110/\$)
(年平均)

< 連結損益の推移: セグメント別 >



損益

期初見通しを変更

営業損益 160億円
税引前損益 300億円

為替の影響

(営業損益 180, 営業外損益 140, 計 320億円)

コストの増加 (営業損益 80億円)

客船建造コスト増加
東日本フェリー 会社更生法適用事案

連結子会社 一時金支給対象期間変更

(営業損益 + 100億円)

今後の展開

売上の確保

('03/上期 1兆円 '03/下期 1兆4000億円 [+4000億円])

プロジェクト管理徹底による工事採算の確保

販売費・一般管理費を含むコスト改善

2003年度 通期の業績見通し(単独)

(年度)

(単位:億円)

	'02	'03		
	実績	期初見通し	今回見通し	増減
受注高	20,507	22,000	22,000	-
売上高	21,717	19,000	19,000	-
営業損益	1,030	670	410	260
経常損益	651	500	100	400
税引前損益	545	500	100	400
当年度損益	301	300	50	250
一株当たり年間配当金	6.0円	6.0円	6.0円	-

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみには依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。